

環境保護の取り組み

環境配慮型製品の開発

環境配慮型製品には、①自身の環境負荷発生量が少ない製品(例えば、省エネ型製品)と、②周囲の環境負荷を低減する製品(例えば、廃棄物を減容する装置)があります。沖電気は、②の環境負荷低減型製品についても開発を進め、地球環境保護に貢献します。

1. ITS (高度道路交通システム) の開発

VICS (道路交通情報通信システム)、ETC (ノンストップ自動料金収受システム)、AHS (走行支援システム) 等のシステムを、「ITS」といいます。ITSは最先端の情報通信技術を利用し、人とクルマと道路を融合させた新しい社会システムで、環境の保全と自動車走行の安全性・快適性の向上が期待されています。

2001年3月、千葉地区の高速道路でETCの本格運用がスタートしました。沖電気は中央道、関越道、上信越道、四国4道の104料金所にETCを納入し、この秋の本格運用に向けて動作確認作業を続けています。ETCの配備により、高速道路の渋滞が30%解消し、その結果燃料消費量とCO₂排出量を削減することができます。

沖電気は、今後もAHSや多様なITSシステムの開発と実現に努めていきます。



料金所のETCゲート

2. 資源節約型プリンタの開発

(株) 沖情報システムズでは、使用済用紙を再利用できるプリンタ (エコプリ) を開発しています。

エコプリは再利用可能な専用の感熱紙を使用するプリンタで、使用済の用紙を装てんするとプリンタが印刷された文字を消去し、再び新しい内容を印字する仕組みになっています。用紙は、実用レベルで約500回の再利用が可能です。

紙の使用量削減や廃棄物の削減に効果があります。



エコプリ